

2015年度「コニカミノルタ光みらい奨励金」募集のお知らせ

一般社団法人日本光学会では、新産業の創出につながるようなポテンシャルの高い光科学技術を進歩させるために、次世代を担う独創的な研究の奨励ならびに若手研究者の育成を目的として、「コニカミノルタ光みらい奨励金」を募集いたします。本会会員の皆様は、将来社会に向けて大きなビジョンを描き、本学会のブレインネットワークの場を活用して独創的な研究を続けていただく一助になることを期待しております。これから自らのアイデアを実現しようとする若手研究者の皆様の応募をお待ちしております。

募集分野：光学に関連する研究で、すでに研究途中のものでも、これから始めるものでもよい。基礎研究、応用研究のいずれでもよい。海外や他の分野との共同研究でもよい。

応募資格：一般社団法人日本光学会会員（学生会員含む）。ただし、学術振興会特別研究員など他機関の研究費の受給者は、機関が定める規定に注意すること。また、他の機関より研究助成を受給している場合は、研究題目も含めて、申請用紙の研究者略歴に記載すること。

採択件数：コニカミノルタ光みらい若手奨励金（30万円）1名（社会人と学生の応募から選考）、コニカミノルタ光みらい学生奨励金（5万円）3名（原則として学生の応募から選考）

応募方法：一般社団法人日本光学会ホームページより申請用紙をダウンロードし、必要事項を記載し、PDFファイルを電子メールで送付する。なお、提案する研究が過去に公表された研究の延長である場合、提案の研究と過去の研究との差異を「独創的なポイント」にて明記し、参考文献（応募者が著者の文献に限る）があるときはその参照先を記載する。

（一社）日本光学会ホームページ <http://myosj.or.jp/>

応募締切：2015年9月13日

選考および結果の通知：選定結果は2015年12月頃に、申請のあった会員に通知する。

奨励金の使途：研究目的であれば使途は限定されない。

奨励金受給者の義務：2016年12月31日までに研究報告書を提出する。コニカミノルタ光みらい若手奨励金の受給者は、研究成果を一般社団法人日本光学会の主催する会合で発表する。なお、発表に際しては、本奨学

金によって支援された旨を明示することが望ましい。申請書提出先および問合せ先：

日本光学会総務委員（光みらい奨励金担当）飯山智子
E-mail hikari-mirai 2015@myosj.or.jp

個人情報の取り扱い：日本光学会事務局 E-mail info@myosj.or.jp

後援：公益財団法人コニカミノルタ科学技術振興財団
※個人情報に関して：提案者の個人に関する情報は、日本光学会による研究会やフォーラムの案内、広報支援活動等の情報提供に利用させていただくことがあります。

第57回研究会「光と薄膜」開催案内

日時：2015年7月23日(木) 10:20~17:30

場所：ハイライブラザいたばし（〒173-0004 東京都板橋区板橋1-55-16）

主催：日本光学会光設計研究グループ

共催：板橋区

協賛：応用物理学会、光学薄膜研究会、日本真空学会、日本表面科学会

プログラム：①「光学薄膜技術の動向と基礎技術」室谷裕志（東海大）、②「『OptiLayer』を用いた光学薄膜設計」鬼崎康成（ケイワン）、③「サブ波長構造を有するメソポーラスシリカから構成される反射防止膜」宮田浩克（キヤノン）、④「低温プラズマALDによる樹脂への成膜」吉田武史（昭和真空）、⑤「自動車ヘッドランプ塗装の技術動向」柴田薫（日本化工塗料）、⑥「光学部品向け防汚コート技術」高橋崇（トプコン）、⑦「太陽光の吸収に優れた黒色めっき」池山弘一（旭プレジジョン）、⑧「調光ミラー薄膜を利用したスマートウィンドウ」吉村和記（産総研）

参加費：光設計研究グループ個人会員4,000円、光設計研究グループ学生会員無料、一般10,000円、日本光学会および共催・協賛団体個人会員8,000円、学生一般2,000円、日本光学会および共催・協賛団体学生会員1,000円。当日、受付にてお支払いください。

定員：150名。定員になり次第締め切ります。

参加申込：氏名（フリガナ）、所属、住所、電話、Fax、E-mail、参加区分（参加費参照）、懇親会（無料）参加の有無を、E-mail、Fax、または郵送にて下記申込先までお送りください。

申込先：キヤノン(株) オプティクス技術開発センター

オブティクス 31 開発室 菊地 正
〒321-3298 宇都宮市清原工業団地 23-10
電話 028-667-5711

E-mail k57reg@opticsdesign.gr.jp

問合せ先：(株)トプコン 設計支援部表面処理技術課
秋葉正博

〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町 75-1
電話 03-3558-2928 E-mail k57@opticsdesign.gr.jp
URL <http://www.opticsdesign.gr.jp/>

国際会議 ODF'16 論文投稿・参加の募集

期 日：2016年2月28日～3月2日
場 所：Hochschule Ravensburg-Weingarten
主 催：Hochschule Ravensburg-Weingarten, 日本光学
会光設計研究グループ

スコープ：光設計・製造関連技術, 他光学関連技術
投稿期日：2015年5月1日～7月31日(予定)
応募資格：どなたでも応募できます
発表方法：口頭講演もしくはポスター
詳細は, 本号同封のご案内, もしくはウェブサイト <http://www.odf16.de/> をご覧ください。

第 375 回講習会「実習付き基礎講座：ベーシック機械計測一測る・使える・わかる」

期 日：2015年8月31日(月)
場 所：首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパス
(東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル12階)
主 催：精密工学会
協 賛：日本光学会
問合せ先：精密工学会講習会係 jspe_koushu@jspe.or.jp
URL <http://www.jspe.or.jp/wp/wp-content/uploads/course/375.pdf>

第4回国際ワークショップ「微小光共振器とその応用」 WOMA2015

期 日：2015年12月1日(火)～12月4日(金)
場 所：北海道大学学術交流会館(札幌市北区)
主 催：WOMA2015
協 賛：日本光学会
会議形式：招待講演, 一般発表(ポスター発表)
一般発表申込：9月1日までにWebより予稿投稿
参加登録費：一般25,000円, 学生10,000円
問合せ先：笹木敬司(北海道大学)

E-mail secretariat@woma2015.com

事務局 URL <http://woma2015.com>

第 137 回微小光学研究会「微小光学からみる量子現象・量子効果」

日 時：2015年7月31日(金) 10:00～17:00
場 所：東京大学生産技術研究所総合研究実験(An)棟
3階大会議室(〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1)
京王井の頭線駒場東大前駅・小田急線東北沢駅より徒歩10分, 小田急線・地下鉄千代田線代々木上原駅より徒歩15分

主 催：応用物理学会微小光学研究会

共 催：東京大学生産技術研究所

参加費：一般4,000円, 学生・シニア1,000円(資料代含む)。当日ご持参ください。

参加申込：不要。直接会場にお越しください。

問合せ先：科学技術振興機構 横森 清

電話 03-5214-8413 Fax 03-5214-8476

E-mail kiyoshi.yokomori@jst.go.jp

URL <http://www.comemoc.com/>

日本光学会 news の掲載申込先：

〒400-8511 甲府市武田4-3-11 山梨大学工学部情報メカトロニクス工学科 金 蓮花

電話 / Fax 055-220-8448 E-mail lianhua@yamanashi.ac.jp

なお, 掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで, 開催日が1～10日の場合は, 開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては, 「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2015年7月3日現在の本学会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

(株)アドバンテスト研究所	(株)東芝研究開発センター
(株)アルゴ	(株)トプコン
ウシオ電機(株)	(株)ナック イメージテクノロジー
(株)オプトロニクス	(株)ニコン
オプトシリウス(株)	(株)ニデック
オリンパス(株)	日本板硝子(株)
キヤノン(株)	(一社)日本オプトメカトロニクス協会
(株)清原光学	古野電気(株)
(株)光学技研	富士フイルム(株)
興和(株)	マミヤ・デジタル・イメージング(株)
(株)五藤光学研究所	(株)溝尻光学工業所
コニカミノルタ(株)	三菱レイヨン(株)
(株)シグマ	ユニオプト(株)
(株)昭和オプトロニクス	(株)リコー
ソーラボージャパン(株)	ルーマスソフト(株)
(株)タムロン	
中央精機(株)	
テルモ(株) 技術センター	

以上 34社 49口 (五十音順)

「応用物理」第84巻第7号(2015年7月号)目次

今月のトピックス

香取秀俊氏が学士院賞受賞……………井戸哲也
細野秀雄氏が学士院賞および恩賜賞受賞……………神谷利夫

特別記事〈応用物理学会業績賞受賞者随想〉

インターネット時代の応用物理コミュニケーション……………佐藤勝昭
フォトニック結晶の研究を振り返って……………野田 進
シリコンデバイス研究の40年……………小柳光正

解説

耐放射線・耐熱材料を用いた放射線計測システムの開発
……………金子純一
イリジウム下地を用いたエピタキシャルダイヤモンドウェーハ
の作製……………澤邊厚仁, 児玉英之
シリコンウェーハのゲッターリング技術の進展……………栗田一成

最近の展望

実用化が進むレーザーディスプレイ……………山本和久

研究紹介

カーボンナノチューブ・グラフェンを利用した光ファイバ
デバイス……………山下真司

低次元電子系の機能に基づくテラヘルツ波検出・分光・撮像
デバイス……………河野行雄
太陽電池モジュールの劣化機構の解明と信頼性向上技術
……………原浩二郎, 増田 淳

基礎講座

観察技術(プローブ顕微鏡)のコツ……………長谷川剛

ホッとひといき

なぜ物理学者は理解されないのか?!……………池谷瑠絵

連載

科学を詠む⑦……………松村由利子

Student Chapter だより

早稲田大学・日本女子大学合同 SC の活動と春の交流会に
ついて……………岡田大地

Inside Out

From one green island to another……………シーレ ニコーマック
Science As Art
瞳多点照明の干渉火花……………渡辺向陽